

# 法王フランシスの支持率が、子供虐待隠ぺい後、史上最低を 記録

Pew 世論調査：マイナス支持率が、僧侶の子供性暴力スキャンダルの間違った  
対処のために、3倍に後退

【訳者注】この調査は当然の結果であろう。カトリックがいか伝統の宗教と言っても、ここまでくれば見限らざるをえないだろう。今、たまたま3人の人、または人々が、同じことをやって見せているように我々には見える。法王フランシスは、周囲からその非常識をどんなに諫められても、聞く耳をもたないようであり、イギリスのメイ首相も、閣僚から愛想をつかさされても、EU にしっかり繋がった Brexit を捨てる気はないようであり、アメリカの民主党も、キャバノー事件にせよ、中間選挙にせよ、堂々と理不尽を押し通して、後へ引くつもりはないかのようである。なぜだろうか？ それはこの3本柱が、互いに支え合って、NWO の方向に強引に世界を引っ張っているからではないだろうか？ 同じ心理学と力学がここには働いているようにみえる。Cf. <http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170312.pdf>

Jay Greenberg, [www.neonnettle.com](http://www.neonnettle.com)

November 16, 2018



法王フランシスの評価が、深刻な一連のスキャンダルと、僧侶の子供への暴力が最近暴露さ

れて、彼がこれを隠ぺいしたことによって、どん底に落ち込んだ。

Pew リサーチ・センター所長の Alan Cooperman によれば、法王のマイナス評価は、何よりも、彼が、僧侶たちの性暴力危機をいかに取り扱ったかを、反映しているという。

今週、SiriusXM ラジオの、カトリック・チャンネルでのインタビューで、クーパーマンは、法王のマイナス評価は 3 倍に低下し、その直接の理由は、教会の暴力的なペドファイル僧侶の危機に対処する、彼のやり方にあると言った。

<https://cruxnow.com/interviews/2018/11/14/pollster-says-pope-has-tripled-his-american-negatives-over-sex-abuse/>

アメリカのカトリック教徒の中で、法王の支持率は、先月、歴史上最低のどん底に落ちこんだが、その理由は彼が、セオドア・マツキャリック枢機卿の子供暴行犯罪を、自分が隠していたという事実を、否定して応えなかったからであった。

<https://neonnettle.com/news/4958-whistleblower-pedophile-cardinal-was-left-to-abuse-minors-for-years-by-church>



アラン・クーパーマンは、支持低下の原因は、直接、子ども暴行事件を法王が隠していたことにあると言っている。

ブライトバートによると、カトリックの成人で、フランシスが性暴行危機に対して、「すばらしい」または「よい」仕事をしていると答えた者は、30 パーセントしかおらず、Pew 調査センターの、この問題についての最新の調査では、2015 年からは 24 ポイントの後退、Pew が今年 1 月に最後に質問したときからは、14 パーセント後退しているという。

<https://www.breitbart.com/faith/2018/11/14/pew-director-popes-negative-ratings-tripled-mishandling-clergy-sex-abuse/>

同様に、9月のCNNの世論調査では、法王のアメリカ市民間での支持率は過去最低を示し、2013年の法王選挙以来初めて、50パーセントを切った。<https://www.breitbart.com/big-government/2018/09/15/amidst-scandals-popes-popularity-plunges-to-all-time-low/>

今週、法王はアメリカの司教たちに対し、聖職者の性暴行に対処する新しい措置に、投票することを禁止した。これは彼の支持率を更に低下させるだけであろう。

<https://www.breitbart.com/faith/2018/11/12/pope-francis-reins-in-u-s-bishops-measures-against-sex-abuse/>

司教たち自身でさえ、バチカンの驚くべき介入に対して、驚愕を表明している。

米国への教皇大使クリストファー・ピエール大司教によれば、最後の瞬間における、この投票の保留の理由は、フランシスの“聖体拝領”に対する懸念であった。どういうことかという、彼は、教会全体が団結して行動することを望んでおり、国家司教会議が自分勝手な政策を決めることを避けようとしたのだ。これは多くのオブザーバーが、許容できないと考えるだろう。[https://nypost.com/2018/11/12/the-vatican-blocks-a-vital-step-against-abuse/?utm\\_source=email\\_sitebuttons&utm\\_medium=site%20buttons&utm\\_campaign=site%20buttons](https://nypost.com/2018/11/12/the-vatican-blocks-a-vital-step-against-abuse/?utm_source=email_sitebuttons&utm_medium=site%20buttons&utm_campaign=site%20buttons)

法王は、国家カトリック司教会議の議長を招集し、次の2月に彼とともにローマで会合し、世界的なこの問題にどう取り組むかを、議論する考えである。

しかし、ますます多くの人々が、聖職者の性暴力については、法王フランシスが問題の一部であり、その解決だとは考えていない。



マッキヤリック枢機卿の子供暴行に対する法王フランシスの隠ぺいが、彼の支持を最低に引き下げた理由である

フランシスは、彼を有罪とする申し立てを、個人的に拒否しただけでなく、マッキヤリック事件への、バチカンによる公的な調査を始めよという、米国司教たちの要求をもまた拒否した。 <https://www.breitbart.com/big-government/2018/09/26/tired-of-vatican-stall-u-s-bishops-open-investigation-into-mccarricks-sex-abuse/>

9月には、米国司教会議の議長 Daniel DiNardo 枢機卿が、ローマへ赴き、フランシスに調査を始めよう懇請したが、結局、手ぶらでアメリカへ帰ってきた。

「4年前、2014年には、54パーセントのアメリカ人カトリックが、彼はよい事、素晴らしい事をやっているのだと考えていたのです」と、クーパーマン氏は、月曜日、語った。

「現在それは、10人のうち3人になり、アメリカ人カトリックの30パーセントが、彼に「よい」か「大変よい」を与えるが、それは4年間で24ポイント下がり、今年の初めから現在までで、14ポイント下がったのです。」

これ以前の法王たちに比べても、フランシスはよくは見られていない、とクーパーマンは言った。

「しばらくの間、彼はベネディクト（16世）よりも、はるかに高い評判を得ていた。しかし私は、今、彼はベネディクトのレベルか、もっと下にまで落ちたと思う」彼は話した。

例のように、このことについて、あなたの考えを下のコメント欄でお知らせください。